

『生徒の卒業後の就労に繋ぐ』 ～「くまもと物産フェア」での販売実習の取り組み～

熊本県立ひのくに高等支援学校

「いらっしゃいませ、いらっしゃいませ。」

「ひのくに高等支援学校です。」

「私達が専門学科のなかで作った製品をご覧ください。」

・・・と熊本産業展示場グランメッセ熊本の専門高校コーナーの一角で会場内に響き渡る本校生徒の声、声・・・。

11月初旬の土曜、日曜日2日間の熊本県商工会連合会主催の「くまもと物産フェア」において、本校専門学科の授業の中で生産した製品を販売することを通して、本校の理解と啓発を図ることはもとより、販売活動を経験することで生徒が働く意義を知り、働く喜びを経験し、卒業後の就労に繋げていくための製品販売実習が今年も始まりました。

本校は卒業後の就労（社会自立・職業自立）を目指すことを目的に平成13年度、合志市合生（農業公園近く）に開校し、14年目を迎えました。今年度104名の生徒が在籍し、卒業後の就労を目指し、専門学科の時間を中心に「働く力」を身につけると共に年2回の現場実習で実践力をつけ、卒業後の自己実現に向け努力しています。

さて、生徒の将来に繋げていくための一助となるこの販売実習は、生徒がお世話になった現場実習先の方の「くまもと物産フェアで販売しませんか。」という



<窯業科：授業風景（上絵付け）>

誘いの有り難い一言から始まりました。

そう言ってくださった方は、当時商工会の婦人部の部長さんをされている方でした。最初の年は、婦人部で販売をされている場所の一角をお借りしての販売活動でのスタートで、それ以来販売場所の提供をしていただき、後に専門高校コーナーの中で販売をすることになり、今年で11年目に至っています。

毎年、ご家族連れ等、各地域からたくさんのお客さんがおいでになり、県下でも有名なこの催し物「くまもと物産フェア」のポスターの中にも学校名も入れて頂くようになり、年々



本校生徒の販売活動も知れ渡り、物産フェアの事務局に本校製品の問い合わせがあったり、初日で売れてしまう製品があるなど盛況の中で、「いらっしゃいませ。」「おつりは〇〇になります。」「ありがとうございました。」と販売活動（金銭の受け渡し、接客、伝票書き等）に一生懸命に取り組んでいます。今年度は、前日の高校駅伝大会に選手として参加した生徒が、翌日の販売活動に参加して頑張っていました。この経験が個々の生徒の将来に必ず繋がりを、力になることでしょう。

<販売活動の様子>